



スーパーサイエンスハイスクール 研修成果報告会・課題研究発表会開催

令和元年6月28日(金)、SSH成果報告会・課題研究発表会を開催しました。今回も、多くの保護者の皆様や県内外高等学校の先生方も参加され、日頃の研究成果をご覧いただきました。

課題研究 口頭発表

口頭発表(ステージ発表)では、日本語発表3テーマを行いました。課題研究の成果は年々向上しており、他校の先生方からも、高い評価をいただくことができました。なお、物理分野「流体摩擦の低減効果に関する研究」は、7月27~29日に佐賀大学(佐賀市)で開催される全国高等学校文化祭(2019さが総文祭)自然科学部門、さらに、8月7・9日に神戸国際展示場で開催される令和元年度SSH生徒研究発表会でポスター発表を行います。

分野	発表テーマ
化学	ムペンバ現象について
生物	手の菌について~高校生の手を清潔に保つ方法~
物理	流体摩擦の低減効果に関する研究



課題研究 ポスター発表

後半は、第3学年の学校設定教科「SS科学探究Ⅲ」・「SS総合科学探究Ⅱ」および3年生を中心とした科学系部活動で取り組んだ全106テーマの、ポスター発表が行われました。

科学系部活動と数理コミュニケーションコースの「SS科学探究Ⅲ」では、7・8月に行われる大学主催の各発表会に向けて、実践的な経験を積むことができました。また、「SS総合科学探究Ⅱ」では、自然探究10テーマ、技術探究28テーマ、人間・社会探究32テーマ、国際・語学探究18テーマといった様々な領域の発表が行われ、どの領域も興味深いテーマが目白押しでした。各ブースでは、校外からの参加者や本校生徒からの質問に丁寧に答えている発表者の姿が印象的でした。見学した2年生は、自分たちの研究の進め方のヒントを得ることができました。

次回は12月6日(金)に、第2学年の生徒全員が発表する中間報告会が行われる予定です。



九州工業大学 高大連携課題研究発表会 in 北九州 2019

令和元年7月21日(日)、九州工業大学戸畑キャンパスにて「高大連携課題研究発表会 in 北九州 2019」が開催され、今年の課題研究の成果を発表しました。

県内外の9校から42チームが参加して課題研究発表会が行われ、「物理」・「化学」・「生物」・「工学・数学・地学」の各部門別に、最優秀賞・優秀賞が授与されました。本校からは16チームが出場し、2部門で最優秀賞、3部門で優秀賞を受賞しました。

★ 最優秀賞 ★

【物理】フーリエ変換を用いた共振現象の振動解析に関する研究

【工学】流体摩擦の低減効果に関する研究

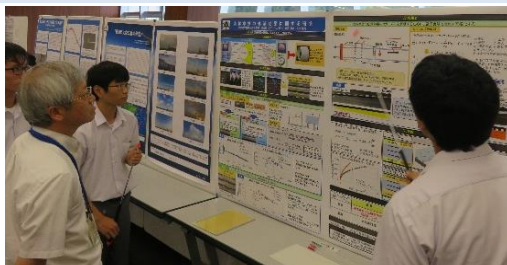
★ 優秀賞 ★

【数学】照明の色と集中力に関する統計学的考察

【化学】ムペンバ現象について

【生物】ホソウリゴケのアレロパシーについて

今年度から新設された「工学」部門では、研究成果を実社会で活用していくための視点として、耐久性や経済性にも検討を加える必要があることを審査員の先生から御指摘をいただき、今後の研究の視点として多くの学びを得ることができました。



工学部門で最優秀賞を受賞した物理部・流体班



化学部門で優秀賞を受賞した化学部・ムペンバ班



第1回先端科学研究講座 「AIとデータサイエンス」

令和元年7月24日(水)、九州大学大学院 システム情報科学研究院 情報知能工学部門 主幹教授 内田 誠一 先生をお招きし、「AIとデータサイエンス」というテーマで講義をして頂きました。AI(人工知能)と機械学習の違いや深層学習、パターン認識などについて、身近な事例を用いてわかりやすく説明していただきました。

講義終了後には、生徒たちからのたくさんの質問にも丁寧に答えていただき、大いに盛り上がりました。

